



平成30年6月18日  
独立行政法人国立科学博物館

## 世界最大の「花」ショクダイオオコンニャクが 4度目の開花

独立行政法人国立科学博物館筑波実験植物園（園長 樋口 正信）で、ショクダイオオコンニャクが今月下旬に開花する予定です。世界最大でめったに咲かない花ですが、当園での開花は4度目で、同じ株が連続して4回も花を咲かせることは日本初です。このような連続開花は世界でも極めて稀です。

ショクダイオオコンニャクは、スマトラ島（インドネシア）の限られた場所に生えるサトイモ科の絶滅危惧種です。花（植物学的には花序＝花の集まり）は高さ3メートル、直径1メートルになるものもあり、世界でもっとも大きな「花」をもつ植物です。また開花後は独特の強烈な悪臭を放ち世界でもっとも醜い花とも呼ばれています。

今回のイモのサイズは76Kgとなり、当園においては過去最重量です。これまで「ギネス世界記録」の高さ（3.1メートル、2010年米国）にはおよびませんでした。今回の「花」がどのくらいの高さになるか注目されます。

**開花予想時期：** 平成30年6月24日（日）～30日（土）ごろ

**特別開園時間：** 開花後3日間 8：30～18：30  
（入園は18：00まで。月曜日は臨時開園）

**展示場所：** 国立科学博物館 筑波実験植物園 熱帯雨林温室  
（茨城県つくば市天久保4-1-1）

**特設ホームページ：** <http://www.tbg.kahaku.go.jp/news/konnyaku/>  
「コンニャク日記」

### 〈本件についての問合せ先〉

独立行政法人 国立科学博物館

経営管理部研究推進・管理課 研究活動広報担当：稲葉 祐一

担当研究員：堤 千絵（多様性解析・保全グループ研究主幹）

〒305-0005 茨城県つくば市天久保 4-1-1

TEL:029-851-5159（代表） FAX:029-853-8998

E-mail: t-shuzai@kahaku.go.jp

## 概要

### ・シヨクダイオオコンニャク

和名：シヨクダイオオコンニャク（燭台大蒟蒻）

学名：*Amorphophallus titanum*

科名：サトイモ科

分布：スマトラ島（インドネシア）の熱帯雨林

花序の最大のサイズ：高さ 3.1m（ギネス世界記録）、直径 1 m

（註）シヨクダイオオコンニャクの「花」は正確には花序（花の集まり）で、例えばヒマワリの花と同じ

### ・筑波実験植物園での開花

開花日予測：平成 30 年 6 月 24 日（日）～30 日（土）ごろ

花の見ごろ：開花日を含め 2～3 日。3 日目には花が閉じることが予想されます。

### ・栽培個体の履歴

平成 4 年 東京大学大学院理学系研究科附属植物園（小石川植物園）で播種

平成 18 年 小石川植物園がイモを当園に譲渡

平成 24 年 3 月 16 日 定植。その後、葉の生育・休眠を継続

平成 24 年 5 月 25 日 1 回目の開花（花序の高さ 206cm、直径 93cm）

平成 26 年 4 月 23 日 植え替え（イモ重量 70kg、直径 66cm、厚さ 42cm）

平成 26 年 7 月 3 日 2 回目の開花（花序の高さ 272cm、直径 108cm）

平成 28 年 7 月 6 日 植え替え（イモ重量 65kg、直径 63cm、厚さ 32cm）

平成 28 年 8 月 14 日 3 回目の開花（花序の高さ 238cm、直径 101cm）

平成 30 年 5 月 14 日 植え替え（イモ重量 76kg、直径 73cm、厚さ 36cm）



シヨクダイオオコンニャクのイモ  
（平成 30 年 5 月 14 日時点）  
イモ重量 76kg、直径 73cm、厚さ 36cm

\*\*\*\*\*

開花後 3 日間は、開園時間を 8：30～18：30 にし（1 時間 30 分延長、入園は 18：00 まで）、月曜日にかかる場合は臨時開園して、できるだけ多くの皆さまにご覧いただけるようにします。

筑波実験植物園 特設ホームページ <http://www.tbk.kahaku.go.jp/news/konnyaku/>で成長の様子や開花の予想、見どころなどを紹介しています。



平成 28 年の花芽  
1 日に 22cm 成長するなど生育の様子も  
見応えあり  
(平成 28 年 8 月 8 日) 高さ 192cm

▼過去の開花 (平成 24 年)



▼過去の開花 (平成 26 年)

